

9-6 長距離自然歩道の概要

名称	位置	公園名	計画延長 km	整備(大阪府)		備考
				延長 km	事業費 千円	
東海自然歩道	箕面市政の茶屋 高槻市ポンポン山	明治の森 箕面 国定公園	1,697	本線 32.9km	49,000	計画延長は明治の 森高尾までの距離 をみる。
				支線 2.9km	(45~48、4年度)	
ダイヤモンド トレール	香芝市屯鶴峯 和泉市横尾山	金剛生駒 紀泉 国定公園	45	36	46,700 (45~49年度)	奈良県 9 km
生駒緑走歩道	四條郡市達坂 八尾市高安山	"	22	13.9	29,457 (57、59、3年度)	奈良県 大阪府未整備0.8km

9-7 大阪府施設緑化基準

施設	区分	敷地面積のおおむね	緑化基準(緑被率)
公園	住区	"	30%以上
都市	基幹公園等	"	40 "
緑地	広域公園(森林を主とする広域公園を除く。)	"	50 "
施設	森林を主とする広域公園	"	90 "
教育	幼稚園・小・中・高校等	"	20 "
社	大字	"	30 "
道	寺・古墳	"	70 "
緑	路	"	10 "
水	道	"	70 "
庁	水辺	"	10 "
施設	社会福祉・環境衛生施設等	"	20 "
住宅	一戸建(長屋建)住宅	"	30 "
工場	共同住宅等	"	20 "
医療	療場	"	30 "
鉄道	施設	"	30 "
保	安全林・保安林	"	100%
地	埋立	"	20%以上

(注) (緑被率 = 緑被地面積 / 敷地面積)

9-8 ビオトープの基本的な考え方

ビオトープの基本的な考え方

いきものによさしい10か条

- ① 今ある自然を活かし、その改変は必要最少限にとどめる。
- ② 樹林地や水辺などからなる広がり多様性のある環境をつくる。
- ③ それぞれの生息域は緑地や水辺のベルトでつなぐ。
- ④ 林縁部や水際線など環境の変化する境界部(エコトーン)を大切にす。
- ⑤ 生態系の分断を避けるため、動物の移動経路を確保する。
- ⑥ 木材や石など自然素材の活用に努める。
- ⑦ 透水域を確保し、人工物の被覆は可能な限り分散させる。
- ⑧ 健全な表土を保全し、露土種の活用を図る。
- ⑨ 緑地や水辺などを活用して動物の隠れ家や産卵帯(バッファゾーン)をつくる。
- ⑩ 雑草や除草剤などに頼らず生態系のバランスを図る。

多様ないきもの生息する空間(ビオトープ)

- ・ 広いほどよい
- ・ 変化に富んでいるほどよい
- ・ 連続性があるほどよい
- ・ 人為的な影響が少ないほどよい

まちづくりへの適用